



金 鷄 の 雛

長野県長野高等学校
定時制だより第5号
2026年9月25日

スポーツの秋「スポーツデイ」

9月18日（木）に、「スポーツデイ」が開催されました。

スポーツデイでは、学年や性別、生徒・先生の立場に関係なく混合チームを編成し、ソフトバレーボールを行います。予選リーグ、決勝トーナメントを勝ち抜き、優勝を目指して熱戦を繰り広げました。

身体を動かすことが苦手だったり、スポーツが得意ではなかったりする生徒も、みんなで楽しむことができるように、昨年度から「床にボールが一度ついて、プレーを続けることができる」という『長野高校思いやり特別ルール』を取り入れています。今年度もこのルールのもと、互いに声を掛け合いながら、楽しくプレーしました。

競技中には、レシーブがうまくできなかったときにはすぐに周りの仲間がカバーし、うまくいったときにはチーム全員で喜び合い、うまくいかなかったときには「ドンマイ！」と励まし合う姿が、いたるところで見られました。

勝敗だけではなく、仲間と声を掛け合い、支え合い、喜びを分かち合う——。そんな「仲間を思いやる」素晴らしい姿が、どのチームにも見られました。

スポーツを通して、普段の学校生活とはまた違った生徒たちの表情を見ることができた一日となりました。学年や立場を越えて交流を深め、みんなで一緒に楽しむことができた、まさに「スポーツの秋」にふさわしい行事となりました。

優勝チームには、景品として QUO カードが贈られました。優勝した生徒たちは、喜びの表情を見せながら、仲間とともに勝利を喜んでいました。



▲ 全員でルール確認



▲ 広い体育館でみんなで練習



▲ お手本のようなレシーブ



▲ ナイストス！



▲ 本気サーブ



▲ 景品授与

心に響く「希望」—生徒生活体験発表大会

9月3日（木）に、ホクト文化ホールで「第60回北信高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」が開催されました。

当日は朝からあいにくの雨となりましたが、同じ定時制・通信制で学ぶ他校の発表者の発表を聴くため、多くの方が来場しました。

本校の代表として、4年の泉谷一輪さんが「希望」という演題で発表しました。最後の発表ということもあり、緊張していたことと思いますが、非常に落ち着いた様子で、堂々と発表する姿が印象的でした。会場全体に響き渡る、心のこもった声で、自分の経験や思いをしっかりと伝えてくれました。

審査の結果、泉谷さんは「審査員特別賞」を受賞しました。

今回の大会では、同じような悩みを抱えながらも、その悩みに向き合い、努力を続けてきた人や、人との関わり方を見つめ直し、まずは自分自身を変えようと行動した人など、一人ひとりの貴重な体験や思いを聴くことができました。

発表者それぞれの言葉には、これまでの経験から得た気づきや学びが込められていました。その一つひとつの言葉が、聴く人の心に響き、自分自身のこれまでの経験やこれからの生き方を考えるきっかけになったのではないのでしょうか。

泉谷さん、素晴らしい発表をありがとうございました。そして、これまで発表に向けて努力してきたことに、心から拍手を送りたいと思います。



▲ 壇上で堂々とした発表



▲ 審査員特別賞を受賞



▲ 賞状を手にして記念撮影

総合的な探究の時間 中庭園芸 秋野菜の種蒔き

9月10日（木）に、総合的な探究の時間の「中庭園芸」で、秋野菜の種蒔きを行いました。連日雨が降り、天候が心配されましたが、当日は何とか晴れ間が見え、無事に作業を行うことができました。

畑の畝に指で穴をあけ、そこに種を2、3粒ずつ丁寧に蒔き、土を軽くかぶせます。そして、「元気に芽を出しますように」と願いながら、蒔いた場所を手でポンポンと優しく押しました。小さな種を一粒一粒大切に蒔く生徒たちの姿から、これから芽を出し、成長していく野菜への期待が感じられました。

これからどんな芽が顔を出し、どのように成長していくのか、収穫の日が今から楽しみです。



▲ 1週間後、芽が出ました